

# きらめき あそび めもこ

KIRAMEKI  
八幡平市商工会  
女性部会報

No.8  
2010.1

発行 八幡平市商工会女性部  
八幡平市大更35-63-85  
Tel 0195-76-2040  
Fax 0195-76-2145



## 年頭のあらたまり

部長 遠藤三子



寅年の新春を迎えまして、謹んでお慶び申し上げます。日頃、女性部活動にご尽力をいただきまして、ありがとうございます。

今年も寅年ですが、このたびは「雲は竜を従い、風は虎に従う」これは、立派で聡明な君主のもとには優れた臣下が出現し、これを助けるといふたとえなすので、昨年同様は九月に行われた全国大会

そして分科会では焼走りや宮崎の皆さんのお出迎えやおもてなしなどをしていただき、本当にありがとうございました。好天に恵まれ、無事に終えることができました。宮崎の皆さまから「心温まるお迎えをしていただき、ありがとうございました」とお電話をいただきました。また、(株)地熱染色研究所の作品にも感動したとのこと。私たち女性部でも地熱染めやぶらっと一日体験工房などで地元を改めて勉強するのでもいいものではないかと思っております。来年度の地元学講座は松尾地区になります。皆さん楽しんでほしいですね。

部員の皆様に参加いただけたような活動や研修、講習など案がございましたら、お知らせください。

最後になりましたが、皆様にとりまして、幸せ多い年になりますようお願いいたします。

## 地元学講座 七時雨・西根地域の史跡と 文化・自然遺産を巡る学びの一日。

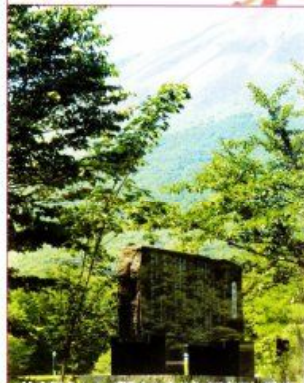
十一月十日(火)、私達が住んでいる地区の名所、旧跡などを巡りもつと理解、PRをしよう今回西根地区が担当することになりました。

当日は曇り空でしたが、フーガの広場から松尾方面、安代方面へと回り、三十四名の参加者を乗せた大型バスは名所、旧跡へと走り出しました。

車中では部員の遠藤純子さんがジョークを交えながらの名ガイド役。バスは緑の放牧地が広がる七時雨山、田代平高原へと進み、車窓からの見学となりました。

そしてバスは聖福寺へと着き、美濃部吉永住職から白坂観音堂などの説明を頂き、七面観音菩薩立像を拝観させていただきました。

次に、平成五年に開館された八幡平市西根歴史民俗資料館、ポエトリ・ガーデン(江間章子歌碑)、更に杜氏が今が一番



陸奥市キャンパス内にある江間章子の歌碑。

忙しい時期と言われている、造り酒屋「わしの尾見学。美味しい甘酒をいただきながら、説明に耳を傾けました。

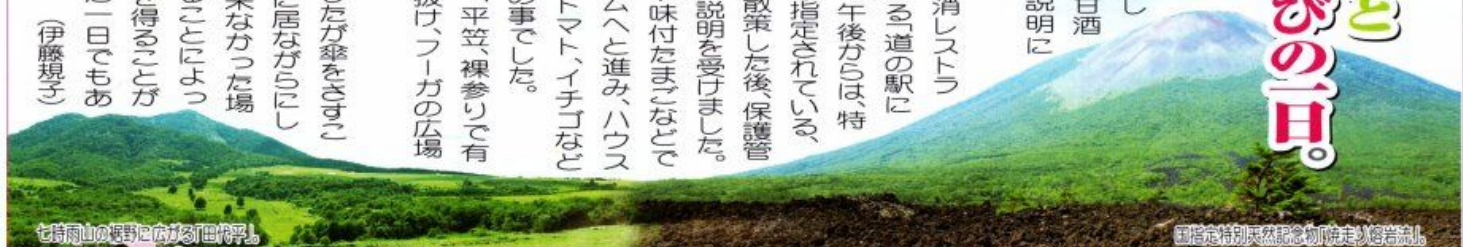
お昼は「岩手地産地消レストラン」の認定を受けている「道の駅にしね」にて昼食をとり、午後からは特別記念物として国から指定されている、焼走り熔岩流の見学。散策した後、保護管理員の田村瑞穂さんの説明を受けました。

更にバスは、お花や味付たまごなどで有名なサラダファームへと進み、ハウスではパプリカやミニトマト、「イチ」などが栽培されているとの事でした。

バスは終盤となり、平笠、裸参り有名な宮田神社を通り抜け、フーガの広場へと戻ってきました。

出発時は曇り空でしたが傘をさすこともなく、また、身近に居ながらにして目にすることも出来なかった場所など、今回参加するのにより新たな発見や知識を得ることが出来、とても充実した一日でもありました。

(伊藤規子)



七時雨山の眺望に広がる田代平。

国指定特別天然記念物焼走り熔岩流。

地元学講座  
誘われて  
リゾートイン・ミワ  
三澤よし子

商工会女性部の計らいで「一日バスツアー」地元学講座「行かない？」と誘われて参加しました。

地名や場所など不慣れな私は身構えてバスに乗り込み、いただいたパンフレットに目を通していました。なかなかバスの中で思いがけない感動をしました。「これね」「の歌声が聞こえてきて」「皆で歌いましょう」とのこと。二ヶ月前に初めて聞いて覚えただけの歌でしたのでうれしくなり大きな声で歌い、また、作詞家の江間章子さんの歌碑の前で記念写真にも納まったことでも最高の一日でした。

地元学講座  
Voice  
参加者の声

(有)佐々木建設  
佐々木一夫  
初めて参加しましたが、地元の歴史を知ることができ大変良かったです。

八幡平市西根歴史民俗資料館、聖福寺など詳しくの説明していただき、また白坂観音堂は、特別に七面観音菩薩立像を見せていただき地元の人なすはらしい菩薩像があるのに感動しました。

案内していただいた女性部の皆さん、すてきなガイドさんありがとうございました。



第11回

# 商工会女性部 全国大会

in  
いわて

「実戦力」で輝く、  
全国の友を迎えて開催。

## 式典

平成21年9月17日  
会場：岩手県民会館

私にとって  
商工会行事へ  
の参加は、三  
十数年振りです。  
かつて、松尾  
村商工会青年  
部で色々な観光地の視察への参  
加がなつかしく思い出されました。  
昨年の春より、母親からお店を  
引き継ぎ、細々ながらもお客様と  
の交流を図っております。今まで  
は名前だけの部員でしたが、今回  
全国大会が盛岡で開催されると  
のことで喜んで参加させていた  
だきました。全国大会という大き

なイベントへの参加にとても大  
きな感銘を受けました。  
①八幡平市商工会女性部の皆様  
との出会い、ふれあい。  
②県内女性部員の皆様のパワー、  
そして役員の方々の大会に対  
する熱意。  
③全国六人による主張発表大会  
主張発表大会ではひとり一人  
が実践に基づいての発表でした。  
どの県もどんな商売もこの大不  
況の中、いかに生き延びていくか、  
もがきあえいでいる毎日だと思



お揃いの半纏を着てお出迎え。

います。個人の努力だけでは乗り  
切れない大不況という現実の世  
の中。暗いニュースの多い日々  
の中「何をやっても成功するはずが  
ない」という先入観を皆さんの発  
表が払拭してくれました。創造性  
計画性、仲間との団結など不可能  
を可能にしたという実践力に私  
は大きな感銘を受けました。「成  
せばなる。何もしないところには  
何もなし。」という言葉を信じ、今  
大会への参加を私の心の財産に  
したいと思っております。  
なお、主張発表大会では九州ブ  
ロック 鹿児島県喜界町商工会  
女性部 豊島代子さんの「地域の  
人と歩み・共に生きる」が最優秀  
賞に選ばれました。(立柳陽子)

## 移動分科会

「八幡平と岩手山麓(焼走り)」  
平成21年9月18日  
視察地  
八幡平市、八幡平地熱蒸気染、  
岩手山焼走り国際交流村 他

商工会女性部全国  
大会二日目は宮崎県  
商工会女性部の皆さ  
んが第三移動分科会  
の八幡平市を訪れま  
した。八幡平と松川温  
泉の地熱蒸気染を見  
学した後には焼走り国  
際交流村にいらつしゃいました  
ので、私たち女性部は、おそらい  
の半纏を着てお出迎えをしました。  
八幡平市観光協会長さんから「八  
幡平の観光振興について」の講演  
をいただき、その後、岩手の地産  
地消のお弁当を味わっていただ  
きました。昼食後には熔岩流に移  
動し、案内人の説明を聞いていた  
だきました。当日は天候にも恵ま  
れ、岩手山や焼走りが遠くまで見  
渡せる秋日和でしたが、散策をし  
ていただく時間がなかったのが  
とても残念でした。

ゆっくり懇談ができなかったと  
いう反省点もありましたが、参加  
者の方から「心温まるおもてなし  
をありがとございました」と礼  
状をいただき、とてもうれしく思  
いました。  
(根守お清／鈴木秋子)



御一行は国際交流村で一休みされました。



移動分科会で八幡平市を視察する宮崎県女性部の皆さん。(焼走り熔岩流)



交流会で和やかに会食。



# 交流会

平成21年9月17日  
会場：盛岡グランドホテル

交流会場の盛岡グランドホテルには来賓をはじめ各県の女性部の皆さんが予定

の時間より遅れて次々に到着。私達はおそろいの半纏で並び、とびつきりの笑顔と拍手でお迎えしました。ホテル内の二カ所に分かれた交流会場には九百名余りが参加し、メイン会場の鳳凰の間では弦楽合奏団バディヌリの奏でる調べにのって、高橋佳代子さんの進行で始まりました。及川ユキ子県女連会長の歓迎のあいさつに続き、御来賓の皆さんの

ご挨拶を頂きました。

和やかな中、行われたアトラクションの佐比内金山太鼓では身体の芯まで響く迫力に圧倒されました。再びバディヌリが登場し、宮沢賢治の「星めくしの歌」など素敵な演奏で会場を魅了しました。

三つ目のアトラクションでは、「ミスさん」と太鼓による「さんき踊り」が披露され、その後、会場の皆さんも一緒に参加して大きな「さんき」の輪踊りが広げられ華やかなひと時となりました。

最後に次期開催地の茨城県女連桜井姚会長から茨城大会へのお誘いを頂き、東北六県・北海道女性部連合会連絡協議会松本矩子会長の閉会のことばで盛会のおちに幕を閉じました。

お見送りの時には、翌日の分科会でお会いする宮崎県の女性部の方々に「明日、焼走りでお待ちしてまーすー」と声をお掛けしたら、「明日はよろしくねー」「お世話になりまーすー」と



全国からの参加者と共に笑顔で参加しました。(岩手県民会館)

いっお返事が返ってきました。皆さんが帰られ、静かになった会場で、全国大会第一日目が無事に終えたことをみんなで喜びおりました。

かつて、全国大会参加の折に、訪れた地の女性部の皆さんから、温かい歓迎を受け、大変感激した思い出がありました。今回はその時の気持ちを皆さんに伝えることが出来ればという思いで参加させて頂きましたが、はたして……。

(石田トシエ)

次の日、県民会館の大勢の

九月十七・十八日と商工会女性部全国大会が県民会館で行なわれ、前日、京都の商工会女性部の方々百二十人が安比グランドホテルに宿泊され、八幡平市商工会女性部からとして「ぶらっと一日体験工房」で開催している漬物の素(三五八)と甘酒造りの勝田屋より、長旅の疲れを一日でも早く取って頂くうと甘酒を百二十人分、十六リットルと可愛いメッセージ入りのカードをグラスの横に添えてお出ししました。

中から京都の部長さん達にやっとお会いして甘酒のおもてなしにとても感激し、「皆さんにお会いしたかった。本当に暖かいおもてなしありがとうございました。皆様宜しくお伝え下さい」とお礼の言葉を頂きました。(勝又紀子)

メッセージを添えて

おもてなしの心  
しつかり伝わりました。  
京都の女性部の皆さんへ  
甘酒のお振舞い。

ようこそ八幡平市へ  
雄大な自然豊かな安比高原を満喫して頂けましたでしょうか?  
長旅でお疲れと思い、ブドウ糖・天然のビタミン・アミノ酸がたっぷり入った、「紀子の甘酒」体験工房の勝田屋「紀子の甘酒」を心をこめて作りました。(点滴の栄養剤の補給と同じ効果があるんですよ!)  
自然のやさしい甘みをご賞味ください。  
明日は皆様とお会いすることを楽しみにしております。  
八幡平市商工会 女性部より



上:甘酒に添えられたメッセージカード  
左:美味しくて元気が出る「紀子の甘酒」。



# 我が街の元氣印!!

● 今回のお店

● 安代 ●  
「新安比温泉静流閣」  
橋本英子さん



笑顔でお客を迎えるスタッフと女将の橋本さん。

昨年、十月一日から新たにスタートした温泉……。新名称は「新安比温泉 静流閣」です。一軒宿で安比川が流れていて、静かにゆったりと過ごして頂きたい思いから……。サフナーミングは「朱塩泉 癒しの宿」。六月から経営を引き継ぎ、「ご主人が社長、奥さんが女将として奮闘されています。」

ホテルには、日本でも非常に珍しい強食塩泉で、濃度は海水の二倍以上含まれる泉質の大浴場元湯があります。体の芯までポカポカに、お肌もツルツル！美肌をゲットしたい方は是非!!他に「アトピー」や「捻挫、高血圧等にも効果絶大です。そして、瀬戸内寂聴師お気に入りの「らくらくの湯」掲げられている木製看板の文字は、寂聴師の直筆！だそうです。展望レストランもいいですねー! 地産地

消費意識し、四季折々のお料理を戴くのも風情があつていいですよ〜!  
十一月には、ご長男も結婚され、今ではお嫁さんも一緒にスーパールの仕事や事務を手伝われているようです。



新婚ホヤホヤの若夫婦もガンパってます。

じつと座っているより、黙々と体を動かす事を厭わない社長と、「何事もベストを尽くす事、謙虚と感謝」をモットーにしている女将が創る「静流閣」です。  
みなさん、是非癒しの宿 静流閣へお越しください。  
(宮野千栄)

## 立佞武多の街、太宰の故里を訪ねて。

十月二十六日、青森県黒石市・五所川原市へ二十一人の参加で視察研修を行いました。

バスからの紅葉を見ながら黒石市へ向かい、商家のある古い町並みを視察しました。塀のすき間から見えたお庭がすてきで見せていただいたり、造り酒屋さんで試飲させていただいたり、木造のアーケード状のこみせ通りを歩きました。

その後、五所川原の立佞武多館へ行きました。四階まである建物に格納されて

### 視察研修

青森県 黒石市・五所川原市



五所川原市・太宰治の記念館(斜陽館)。

れている立佞武多のあまりの大きさとすばらしさに大感激でした。どうやって出すのだろうという疑問に、四階まで一枚扉

美しい庭園を見学。

になっており、それを開いて出すこの事でした。

昼食も立佞武多にあわせ、四段重ねのごちそうでした。「こんなに食べられない」と言いつつ完食。

その後、津軽三味線の演奏を生で聞くというすばらしい経験をしました。

最後は、太宰治の父が明治に建設した「斜陽館」。日本三大美林のヒバを使い、階下十一室、二階八室の豪邸で時間内に全部見学できないほどの広さでした。

みなさんと交流を深めながら、刺激や感動をもらい楽しい一日を過ごす事ができ、とてもリフレッシュできた一日でした。  
(下藤容子)

## 八幡平山賊まつり

今年も大勢の部員さんのご協力、本当にありがとうございました。

十月十日から十二日までの三日間は、お天気も良く、最高のイベント日和で、天ぷらうどんは三日目の昼頃売切れとなる程でした。

毎日こんなにたくさんのお客様が、街を歩いていらつしゃれば、どんなにか商売繁盛だろうと思わずにはいられません。

毎月、市の広報を見る度に、人口減の



山賊まつりを盛り上げる女性部の皆さん。

現実を否応なく感じます。それならば、八幡平市や各々の店を魅力的にして、近隣の街からお客様を大勢呼んできましよう。そして、商売繁盛で部員皆が笑顔になれる様、頑張つてゆこうではありませんか。  
(高橋孝子)

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。会員皆様におかれましては素晴らしい新春をお迎えのことと思います。

さて、昨年の清水寺の漢字「新」という字でした。政権交代、新型インフルエンスと慌ただしく世の中が動きまわりました。会員皆様は昨年何か新しい発見がありましたでしょうか。今年も新しいことに挑戦しながら会員皆様も素晴らしい年になる事を期待しています。本年も皆様からの沢山の意見を頂きながら女性部会報を発刊していきたいと思っております。宜しくお願いいたします。  
(羽沢厚子)